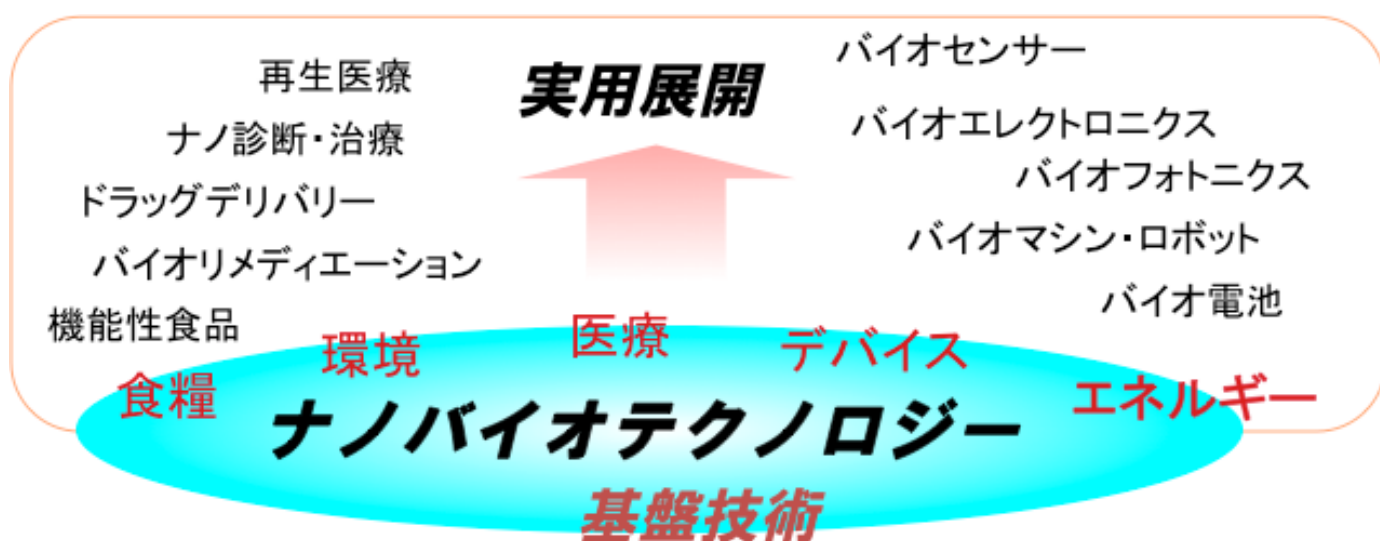


日本生物工学会 ナノバイオテクノロジー研究部会

生体は、ナノメートルスケールで秩序だった構造体の中で存在し機能している。こうした生体の有するナノシステムの中で、情報伝達・処理、エネルギー変換、物質変換がきわめて有機的に行われており、これらは、次世代技術のシーズの宝庫といってもよい。したがってこうした生体機能におけるナノ構造に基づいて生体機能を設計・創成し、応用展開しようとする研究開発は、きわめて重要である。こうしたナノバイオテクノロジーを強力に推進するには、医療、環境、食糧など各種バイオ関連分野との密接な連携が不可欠である。すでに国内外において一部関連分野の連携が開始されているが、広汎なバイオテクノロジー分野を網羅するナノバイオテクノロジー研究会の組織化は、日本生物工学会においてなされるべきと考える。

特に、本研究部会では、ナノバイオナノテクノロジーに関する技術と産業界の持つニーズとの融合を計り、産官学共同研究の実現を目的とした情報の交換を行う。さらに、今後のナノバイオテクノロジー分野における研究を活性化させるために日本生物工学会の会員を中心としたナノバイオテクノロジー関連研究者のネットワークの形成を推進する。



ナノマテリアル
超分子 ナノ粒子
ナノチューブ ナノ薄膜

金ナノ粒子 量子ドット

生体分子・ナノ構造
シグナル伝達 分子認識系
分子変換系
エネルギー変換系

生体膜 分子モーター

ナノ計測・デバイス
ナノイメージング
単分子計測、一細胞解析
ナノマシニング ナノデバイス
ナノインプリント

局在イメージング ナノホールアレイ CNT-FET